

皆様お元気でお過ごしのことと存じます。  
おかげさまで、あらか農園も2年目を迎えました。  
今は収穫、出荷作業に追われる毎日です。  
私たちの農園の様子をお知らせしようと  
農園通信を作りました。どうぞご覧ください。

左から園主 荒木浩男、娘 桃湖、妻 清子

## ピオーネ収穫中



仕上げ摘粒(7月)

秋の土づくりから始まったピオーネづくりも、枝の剪定、棚のビニール張り、芽かき、枝の誘引、花穂の整形、種無し処理、摘粒、仕上げ摘粒、袋かけとなん

とか終わることができました。今年は、梅雨の長雨で日照時間が短く、成育が心配されましたが、梅雨明け頃からの強い日差しのおかげで順調に育ち、現在は早朝から収穫しています。1年間の集大成なので袋を開けるときは、おいしく美しい房でありますようにと祈るような気持ちです。房数は昨年の1.5倍に増え、労力も増えた分、収穫の楽しみも増えました。

今年から近くの国道429号線沿い、道の駅かまがわ円城をすこし南へ下った所の小屋を借りて選果や出荷をしているので、車で通りかかった人が覗いてくれれば少しは直売もできるかな?とを考えています。



娘もおてっだい?

## 乗用草刈機を導入

「百姓は草との戦いだ」という言葉を聞いたことがあります。春から夏にかけては2~3週間で草はあつという間に



乗用草刈機(ぶどう園のフェラーリ)

膝から腰丈に伸びてしまします。ぶどう園は草生栽培で管理をしていますが、草刈りに今までは刈払機(パイプの先端に円盤型の金属の刃が付き、後ろ

にエンジンが付いたもの)を使用。ぶどう園53アールを一度に刈るのは大変なので、少しずつ草刈をしていました。ところがやっと刈り終わった頃には、最初に刈った部分が元のように草ボウボウという有り様でした。そこで、高価でしたが乗用草刈機を導入。遊園地のゴーカートのようなもので畑の中を行ったり来たり、約3~4時間程度で終了。木や支柱のまわり、隅などは仕上げで従来の刈払機を使っているものの、体力的にはぐんとラクになりました。

## ブルーベリーの様子

吉備中央町が町の新しい特産物として推奨しているブルーベリー栽培。アントシアニンを多く含み、目にも良く、ほとんど無農薬で栽培ができるということで、2年前にぶどう園を



ブルーベリー(ハイブッシュ系)

見下ろす荒地を借り、開墾し苗木を植えました。今年の春にも少し植え、15アール約250本になります。品種はハイブッシュ系6品種、ラビットアイ系2品種。品種によってかなり成長に差がありますが、一部順調に育っているものは、来年の夏には少しだけでも収穫する予定で楽しみにしています。ぶどうが忙しく、しばらく放っていたのでブルーベリーより草のほうが背が高くなっていました。この夏は、株周りの草取りに精をだす毎日でした。



ブルーベリー園からぶどう園を望む(5月)